

# 星の話（11） すばる

2020.04.12 星のお爺様

すばる（プレアデス星団）は、地球から約400光年のところにあり、およそ10光年の範囲に120個ほどの恒星が集まっています。比較的若い星の集まりで、約6000万年前に生まれたといわれ、周囲には星が誕生したときの星間ガスがたどよい、青白くうつしだされています。



ガスに包まれたすばる 撮影地：奥日光戦場ヶ原 500mm 望遠レンズ

“すばる”は、集まってひとつになる“統る”に由来しています。枕の草子には「星はすばる…」と登場、また、SUBARUのエンブレム（図-1）や谷村新司のヒット曲『昴』でもよく知られています。

一方、肉眼で見える星の数や形から各地で昔からさまざまな呼び方をされてきました。

- ムツボシ 青森県、福島県、静岡県、など
- ロクジゾウサン 三重の行商人が各地に伝えた
- クヨセボシ 九つに見立てた、茨城県南部
- ハゴイタボシ、タマカザリ 集合した形から
- ヨリアイボシ、カゾクボシ 人の集まりとして

ギリシア神話では、プレアデス7人姉妹に例えられています。姉妹たちが楽しく踊っていたところにオリオンがやってきて追いかけてまわすので7人は女神アルテミスの助けを借りて鳩になって逃げ、天に昇ってプレアデス星団になった、という神話です。

すばるの星々は激しく燃焼しているために寿命は短く、あと1000万年ほどで超新星爆発を起こして消滅するのではないかとされています。もしそうなったら、さらば昴よ～、ですね。



すばると周辺の星座（星図より）



図-1 SUBARU